

令和3年度 第1回スポーツ推進審議会 議事要旨

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 令和3年6月30日（水）13:23～14:55 |
| 場 所 | 第1委員会室 |
| 参 集 者 | 委員／中條庸右、齋藤 隆、佐藤紀巳雄、齋藤 勉、田中 学、 出嶋 幸、大滝美樹、穂積 祥 欠 席／角南俊介 酒田市／鈴木教育長、池田教育次長、齋藤教育次長、齋藤課長、 樋渡補佐、長谷部補佐、土門主査兼係長、乙坂係長 |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ R3 審議会委員名簿 ・ 資料 1-1 令和2年度事業評価令和3事業概要 基本目標 1 ・ 資料 1-2 令和2年度事業評価令和3事業概要 基本目標 2 ・ 資料 1-3 令和2年度事業評価令和3事業概要 基本目標 3 ・ 資料 1-4 令和2年度事業評価令和3事業概要 基本目標 4 ・ 資料 2 新型コロナウイルス感染症の影響 ・ 資料 3 令和2年度施設利用状況 ・ 資料 4 令和2年度「酒田市のスポーツの推進に関する市民アンケート調査」 ・ 参考資料 令和2年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の概要 |

1. 開 会（略）

2. あいさつ（教育長）

- ・ ただいま、「酒田市スポーツ推進審議会委員」の委嘱状を交付させていただいたが、委員の皆さまにおかれては、このコロナ禍の大変の状況において、快く引き受けていただいたこと、深く感謝申し上げます。
- ・ 昨年度から、私たちの生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルスだが、感染症拡大防止により、令和2年度に予定していたスポーツイベントも準備しては中止と、なかなか思うようにいかない状況であった。
- ・ 昨日、市長から記者発表あったが、ニュージーランドのトライアスロンチームの事前合宿が中止になったということで、市長自身も残念なことだと報告していた。
- ・ そのような中でも、できることはやっていきたいと思っているので、皆さまからお力添えを頂きたい。
- ・ 審議会委員の任期は、今年度と来年度の2か年の任期となるが、本市のスポーツ振興に対してお力添えを賜りたい。
- ・ 本日の第1回審議会に際しては、皆さまからそれぞれの立場での意見を頂戴したいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

【会長・副会長の選任】

○（委員）事務局案はあるものか。

→事務局案提示 → 異議なし

◎会長／中條庸右 委員（酒田市体育振興会会長）

○副会長／齋藤 隆 委員（公財）酒田市体育協会会長）

【会長・副会長あいさつ】

- （会長）教育長のあいさつにもあったが、ニュージーランドのトライアスロンチームの事前合宿が中止になったという話があった。幸い、山形県では今日で11日連続、感染者が出ない日が続いている。市体育大会は中止になったが、中体連と高体連は無観客という対策を取りながら開催しているようであるので、このまま大会ができる体制を講じながら開催していければと思う。よろしくをお願いしたい。
- （副会長）初めて委員にして頂いた。スポーツの振興にあたっては大変貴重な会議の場と考えている。市スポーツ推進計画の冊子も勉強してきたので、今日は色々と質問をさせていただきたい。よろしくをお願いしたい。

【事務局より会議の成立について報告】

・「酒田市スポーツ推進審議会に関する条例」第6条第1項により、審議会は、委員総数の過半数の出席が要件となっている。本日の審議会は、委員総数9名のうち、出席者8名となっており、審議会が成立していることを報告する。

3. 協議

【審議会の持ち方について】

- ・審議会は年3回開催する。
- ・本日1回目の審議会では、2019年3月に策定した推進計画に基づいて4つの目標に分けて資料を作成しているため、令和2年度に事業がどのように実施できたか、また今年度の事業の進捗状況についてご意見をいただきたい。
- ・2回目の審議会は9月頃の開催を予定しており、皆様の意見を次年度予算に反映できるような内容をまとめていきたいと考えている。
- ・3回目の審議会は2月頃の開催を予定しており、計画にあるとおりPDCAに基づき、当該年度の事業の総括をしていきたいと考えている。

（1）令和2年度の事業評価について【資料1-1から1-4】（資料に基づき、事務局説明）

【質疑応答】

- （委員）資料1-1で「市体育振興会と市スポーツ推進委員会は相互に連携しながら事業実施をしているが、市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等との連携が見られない。」とあるが、「市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等との連携が見られない」はどこにこの部分は係るものか。
 - ⇒市体育振興会と市スポーツ推進委員会の関わり合いから申し上げると、地域の大枠としてコミュニティ振興会があり、構成団体として婦人会等がある。スポーツ推進委員が体育振興会の事務局を担っていたり、委員になっていたり、相互に関わりがある。
 - ⇒総合型地域スポーツクラブは市内に9つのクラブがあって、組織の作り方としては中学校区を基本に作られている。市体育協会が事務局をしている酒田市スポーツクラブや元気王国は市全体を網羅している組織作りになっている。六華スポーツクラブは中学生が入らずに活動しているし、一中学区に作られている希望ヶ丘体育文化振興会は、部活動の補完という位置付けで作られている。
 - ⇒地域全体を対象にしている市体育振興会と市スポーツ推進委員会、特定の年齢層を対象にしている総合型地域スポーツクラブではなかなか連携がされていなく、単独で活動されている現状にある。併せて市体育協会はどちらかと言うと生涯スポーツというより競

技スポーツに特化している団体なのかなと考え、連携がうまくいっていないと記載したところである。

- (委員) 資料 1-1 で「自然と体を動かして」とある。どういったイメージか。
- (委員) ゲームなどで家に引きこもって遊ぶようになったことから、外遊びが少なくなってきたことを言っているのではないか。
- (委員) 競技スポーツではなく、クラブに入らなくても自然と走ったりすることができる環境ということだと思う。
⇒競技に移行していくと、指導されたり、やらされ感が出てきたりすると思うが、体を動かしたい、遊びたいという気持ちが自然と出てくるようなイメージである。
- (委員) 運動を強制されるのではなく、自然と自分から体を動かすイメージかと思う。

- (委員) 資料 1-2 で改善の内容に「市体育協会と連携し、小中高生から一般までの一貫した指導体制の確立や指導者の資質向上、市民のスポーツへの関心を高め、医科学的な視点も踏まえながら、全国（世界）レベルで活躍できる選手の育成を図る。」と記載あるが、内容が盛りだくさんという感じを受けた。箇条書きでもして、もう少し分けて書いたらもっと分かりやすい内容になったかと思う。理解を深めるには少し重すぎる。

- (委員) 「スポーツ能力測定会」について、「子どもの運動能力にあった競技を見極める」と記載がある。小学3年生、4年生で見極めるレベルまでいくか違和感があった。スポーツをやって楽しかったことを強調することの方が私は大切だと思う。小学3年生、4年生で見極めるまでいくものか皆さんの意見を伺いたい。
- (委員) 小学3年生、4年生で競技を見極めるのは難しいと思う。色々なものに挑戦していくことが大切。走るのが苦手でも自分に合った競技をやっていくことが良いと思う。人からやらされている感じだと疲れる。指導者と子どもと一緒に競技を決められる体制にあると良い。
- (委員) 小学校で体育の授業を見ていると、非常に丁寧。子どもの体力を伸ばそうと授業を工夫している先生方の姿勢が強く見える。1・2年生はボール遊び等の遊びから入って、3・4年生になると単元に入ってくる。その変化の中で繋ぎをやってきている。子ども達は十分に運動する楽しみを味わっていると思う。
- (委員) バレーボールのアランマーレの選手に、バレーボールを始めたきっかけを聞くと、「親がやっていたから。」「友達がやっていたから。」などの理由があった。測定をして、「それではあなたは〇〇競技に行きなさい。」となると、選択の自由を奪っている感じを受ける。そこまで決めるものではなく、〇〇競技が向いていると程度だと思うが。
⇒「スポーツ能力測定会」については、基本目標Ⅰにあげるか、基本目標Ⅱにあげるのか悩んだところである。この段階で見極めるというのは難しいというのは正直思っている。
⇒スポ少の加入率を見ると、3・4年生がちょうど上がってくる時期。6年生から中学生にあがる時期は、スポ少から部活動に変わる時期。当初は6年生と3年生を事業の対象に考えていたが、人数的・予算的な部分でどちらか片方しか対象にできないかと思っている。併せて事業を実施してみて、3年後の状況を確認する作業も必要と思うので、小学3年生・4年生と考えている。
⇒スポーツの種目を一つに絞る必要はない。10 ㎞走や反復横跳び、バットスイング等の運動をモーションキャプチャを体に取り付けて測定する。「あなたはバスケ、野球、バレーに向いています。」というようになりかなりの選択肢がある中で、子ども達は選択できる。また、スポ少の活動とタイアップして、「〇〇地区にはこんなスポ少がある。」といった感じで、自分が興味を持っている種目、やりたい種目につながれば良いと思う。

⇒先ほど委員の話にもあったが、子ども達がスポーツをやるきっかけというのは、親がやっていた、友達がやっていたという理由が本当に多い。酒田市から1人でも多くのトップアスリートを輩出されるように方向性を導いていくことが必要と考える。

⇒この事業を初めて見たときに「YAMAGATA ドリームキッズ」と同様の事業かと思ったが、実際は違うもの。6種類の運動を計測して、向いているスポーツ種目が抽出されてくるわけだが、自分のしたいスポーツと異なる場合は、自分のしたいスポーツをするために「こういうトレーニングをしていくと、もっと動きが良くなる。できるようになる。」というようなアドバイスもしてくれる事業である。

○(委員) 地元小学校でクラブ活動の指導をしている。年間8回から9回あり、軽スポーツを指導してほしいということだった。1回目、小学4年生から6年生まで18名にフロアカーリングを指導したが、とても楽しく遊んでコミセンにまでやりに来たようだった。物を作るクラブ活動もあるようで、スポーツだけではなく子ども達が好きな活動をさせることが大切だと思う。

○(委員) 11月に実施予定ということだったので、ぜひ小学校の先生にも案内をして見てもらいたい。我々にも案内を頂ければ見学に行きたい。昔と今は違って科学的なものがあるので、現場の先生方から見てもらった方がより勉強になると思う。そこまで拡大する予定はないか。

⇒コロナの関係もあるが、より多くの人から見てもらい、良い事業だと思っていただきたい。

○(委員) 先ほどの「自然と体を動かして」といった話で、「自ら」「積極的に」「主体的に」という意味合いだと思う。広い場所があれば走り出したくなるのが普通で、運動させようとか意識的にさせることはなかった。しかし、最近の子どもは、ケガが多くなってきた。当たり前ではなくなってきた。「見極める」という言葉は誤解を招きやすい。自己肯定感を持つことがすごく大事。自己肯定感を持たせる事業が大事。

○(委員) 「野球選手になりたい。」と言うと、子ども達はスポーツをやることを望んでいると勝手に大人は考えるかもしれないが、子どもの話を聞いていると、実は人をまとめる力があって野球のマネジメントだとか、誰かを応援したいなど、その一部を表現する際に「野球選手になりたい。」と言っている場合もあるので、スポーツの観点だけで野球に向いている、向いていないと判断するのはどうなんだろう、という話を以前聞いたことがある。子ども達の心情をも色々な観点から理解できるくらいゆとりを持ってたら良いと思う。

○(委員) ノエビアグリーン財団の補助事業で大勢の人から見てほしいと話があったが、今の時代、オンラインが主流になってきているので、測定会の様子を動画撮影して市ホームページで紹介したらどうだろうか。

⇒主体が酒田市ではないこと、子ども達の顔が映ることを考えると、個人情報との関係だとかいろいろと制約される部分があると思うので、動画撮影は難しいと考える。その辺は確認をする。

○(委員) 資料1-3の「支援」と「推進」は意識的に言葉の使い分けをしているのか。
⇒意識的に使い分けしている。

○(委員) 資料1-4について、本市だけでなく、県内でもべにばな国体前後に建設された建物が多く、だいぶ経過して修繕の必要や劣化が見られるようになってきている。体育施設整備方針も市ホームページに掲載してあったようだが、これに則って予算取りや近々に

急ぐ部分もあるかと思うが、安全安心に充実した施設整備をお願いしたい。雪国ということを見ると、多目的運動施設などの整備も必要ではないか。現時点では厳しいと思うが、将来的に視野に入れながら整備、新設を検討いただきたい。

○（委員）今後、大会をどの会場で実施するか決めていく中で、どこの時点でどこの体育館の改修が入っていて使用できないのか、工期など可視化されているものはあるか。

⇒今後、八幡体育館、国体記念体育館は改修工事を予定している。年度的な目安はあるが、工事発注をしてみないと具体的な工期など詳しい内容は分からない。

○（委員）夜間照明設備の落下と記載あるが、先日の中体連の際に国体記念テニスコートで大会を開催したが、会場に行くと初めて観覧席の一部が使用できない状態にあったことが分かったと担当教員から連絡があった。改修していて使用できないなどのアナウンスは何を見れば把握できるものか。

⇒そういったアナウンスはしていない。今回、観覧席の一部が使用できない状態にあったのは夜間照明の灯具が落下したためで、安全対策のため制限をした。

（２）令和３年度の事業状況について【資料１・２】（資料に基づき、事務局説明）

特に質疑応答なし。

（３）その他

○令和２年度スポーツ振興課所管施設利用状況について【資料３】

（資料に基づき、事務局説明）

特に質疑応答なし。

○令和２年度「酒田市のスポーツの推進に関する市民アンケート調査」の概要【資料４】

（資料に基づき、事務局説明）

特に質疑応答なし。

○子ども（小学生）のスポーツ実施率の数値目標の見直しについて

・前回（令和２年度第３回）の審議会の議事録P5を確認いただきたい。数値目標について記載あり、数値目標の修正をすると記載がある。

・基本目標Ⅰの子ども（小学生）のスポーツ実施率の数値目標について、目標数値を85%に設定している。平成30年度は市独自のアンケートを実施して、「スポーツをしているかどうか。」の簡単な質問項目だった。令和元年度からは市独自アンケートから全国的に実施している学校教育課所管の全国体力運動能力運動習慣等調査を活用することに算定方法を変更した。質問としては、「1週間で420分以上運動をしているかどうか。」という内容で、1日平均60分以上の運動をしている子ども達の数値を集計した。目標値を設定した時点から実績値が下がり、調査方法も変更になったことから、目標数値の見直しをしたい。山形県スポーツ推進計画の後期改定計画では目標数値が60%となっている。現在85%なので、県の60%に合わせ、下方修正したいと考えているので、ご意見等あれば伺いたい。

○（委員）県が60%なのであれば、妥当なところだと思う。

○（委員）この会に出席するにあたり、市スポーツ推進計画を一通り読んできた。5年で計画の見直しをするとあったが、スローガンは「知力 体力 いきいき市民～ひとり1スポーツで元気なまちづくり～」から変わってないのか。
⇒スローガンは「する」「みる」「ささえる」～スポーツを楽しみ、健康で魅力あるまち酒田～に変更になっている。

○（委員）市スポーツ推進計画の冊子P10にある施策体系を体系図に示されないものか。Ⅲスポーツによる賑わいとまちづくりは、他市町にはない特徴あるものだと思う。Ⅳ安全安心なスポーツ活動の環境整備は、土台にあたる部分だと思う。生涯スポーツと競技スポーツは両輪であって、その中に賑わいとまちづくり、その土台として環境整備があるといったイメージが自分の中にある。体系図があれば分かりやすいと思う。

⇒計画を見直していく際に、頂いた意見について検討していきたい。

⇒本日、委員の皆さんから頂いた意見を、次回の審議会資料に反映し、次年度の予算要求に向けて進めていきたいと思う。

4. その他

特になし

5. 閉 会（略）

以上